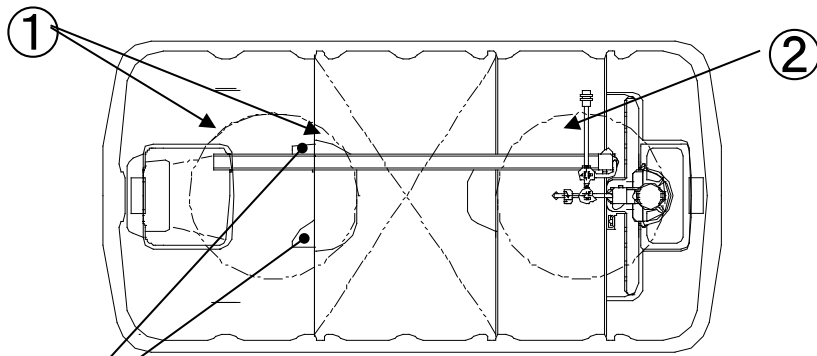
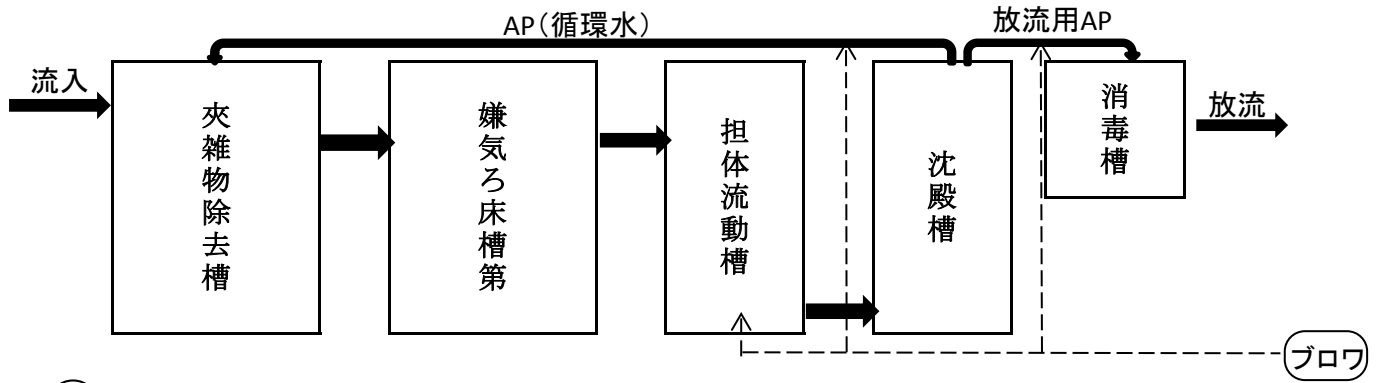
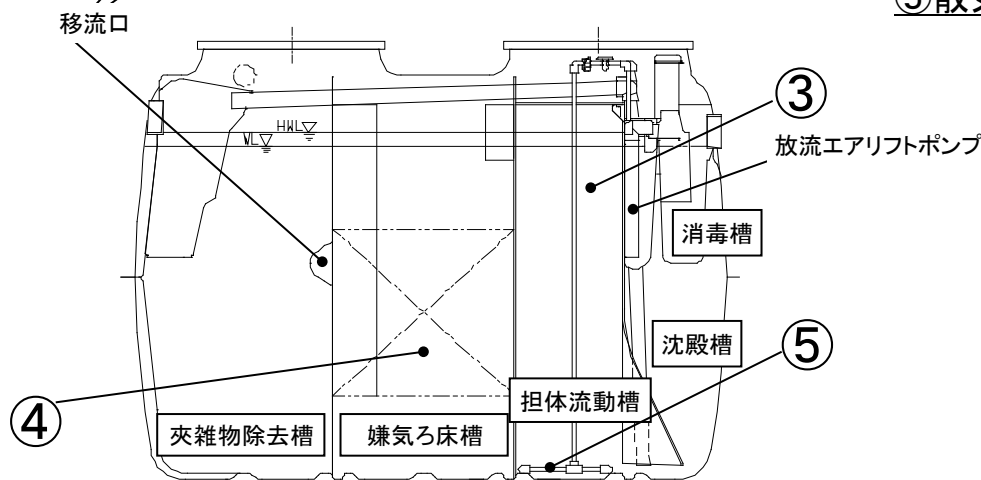


KJ (株)クボタ TPJ 東洋プラント(株) IBG-J (株)イビデン住設 OEM CHUEI-OM 中衛工業(株) FKJ 藤吉工業(株) CMN (株)西原ネオ 処理方式 嫌気ろ床・担体流動方式 5・7・10人槽	窒素除去型		全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N		
	20mg/L以下	—	20mg/L以下		
	性能評定または性能評価値				
	BOD	SS	T-N		
20mg/L以下	15mg/L以下	20mg/L以下			



- ① 夾雑物除去槽/嫌気ろ床第1室
- ② 担体流動槽
- ③ 担体
- ④ 嫌気ろ床槽ろ材
- ⑤ 散気管



有効容量 (m <sup>3</sup> )		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	夾雑物除去槽(L. W. L)	0.752	1.058	1.504
	嫌気ろ床槽	0.753	1.053	1.510
	担体流動槽	0.469	0.626	0.899
	沈殿槽	0.320	0.461	0.705
	消毒槽			0.021
合計		2.315	3.219	4.639

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	嫌気ろ床槽	300
---------------------	-------	-----

散気バルブ目盛	循環バルブ目盛	循環エアリフトポンプ	放流エアリフトポンプ
ひらくの位置	3	有	有

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)
5	60
7	80
10	120

[実使用人員に対する循環水量の設定範囲]

実使用人員(人)	5	7	10
循環 移送水量(ℓ / 分)	2.1～2.4	2.9～3.4	4.2～4.9

特 徴

**夾雑物除去槽** 流入汚水中に含まれる大型の固形物、油脂等が分離、貯留される。槽内の中間水は水面下に設けられた2ヶ所の移流口を介して嫌気ろ床槽の移流管兼清掃孔へ流出する。

**嫌気ろ床槽** ヘチマ様板状ろ材が充填され、その充填率は51～52.5%程度である。槽内水は上向きに流れ、水面付近に設置された移流口を介して担体流動槽へ流出する。

**担体流動槽** 槽内に骨格様球状担体(φ60mm)が充填され、水面より上に担体の流出を防止する担体押さえ面が設置されている。槽底部に設置された散気管によって槽内水が常時ばっ気攪拌され、BOD除去と硝化反応が進行する。流出水は槽底部の移流口を介して沈殿槽へ移流する。

**沈殿槽** 槽内水が上向きに流れる過程で固形物が分離され、越流せきを介して集水樋の中央部分に設置されたエアリフトポンプによって処理水が揚水され、消毒槽へ流出する。一方、槽内に沈殿した固形物は担体流動槽からの流出水とともに、槽底部に設けられた取水口よりエアリフトポンプにて揚水され、夾雑物除去槽へ循環される。

作 業 時 の ポ イ ン ト

**保守点検**

- ①担体流動槽のばっ気状況を確認してください。
- ②循環水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。
- ③放流エアリフトポンプはバルブ開度・処理水の吐出状況を点検してください。必要に応じてバルブの切替えを全開、全閉と複数回繰り返し、ブラシにより配管を洗浄してください。

**清掃**

- ①必ず嫌気ろ床槽を先に清掃してください。
- ②夾雑物除去槽・嫌気ろ床槽とも全量引き抜いてください。